

森林 リークレジット 活用で ミナー

会 場

KDD I 維新ホール(山口市) 201会議室

※新山口駅北口から直結

Jークレジット制度とは、適切な森林管理によるCO2等の吸収量や

省エネルギー設備の導入等によるCO2等の排出削減量を「クレジット」として国が認証・発行する制度です。

このうち、森林由来のJークレジット(以下、「森林Jークレジット」)は、 その購入を通じて、事業活動による温室効果ガス排出量のオフセットに 加え、地域の森林保全活動にも貢献することができます。

こうした中、本年1月に山口県初の森林Jークレジットが認証・発行され、今後、販売されることとなりました。

事業者の皆様に、森林Jークレジットへの御理解を深めていただくとともに、本県で創出される森林Jークレジットの購入・活用を検討していただくため、本セミナーにおいて、効果的な活用方法やクレジットの購入による森林保全活動への寄与などを紹介いたします。



プログラムの詳細は裏面をご覧ください。

program

2 森林 Jークレジット創出と活用の動向

林野庁森林整備部森林利用課森林吸収源企画班 課長補佐 飯田 俊平

3 森林 Jークレジットの効果的な活用方法(活用事例の紹介)

一般社団法人more trees(モア・トゥリーズ)は、音楽家 坂本龍一氏が創立し、建築家 隈研吾氏が代表を務める森林保全団体です。森と人がずっとともに生きる社会を目指し、「都市と森をつなぐ」をキーワードにさまざまな取り組みを行っています。



4 森林Jークレジット創出の取組と今後の認証・販売の見込み

吉川林産興業(株)は、明治36年(1903年)、旧岩国藩主であった吉川家が岩国市錦町に在る木谷山林を所有することとなり、昭和22年、吉川家の山林を維持管理する目的で設立されました。地元岩国市の貴重な水源林である木谷山を未来に継承するため、昭和51年から森林施業計画を樹立し、計画的且つ持続的な森林管理に取り組んでいます。



5 公社Jークレジットの販売に向けて ~二酸化炭素削減の地産地消~

当公社は、昭和41年5月に(財)山口県林業公社として設立され、以降、組織の統合を経て、平成25年4月から現在の組織に移行し、約13千haの分収林を経営管理しています。令和5年度から経営改善の一環として、公社分収林約11千haを対象に国が認証するJークレジット制度を活用し、得られた財源を森林整備に充当する取組を進めています。



6 全体質疑

